



# にぎわい

## 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信

### 編集者より

今回の「にぎわい通信」第124号では、利尻富士町での“にぎわい”をご紹介しますとともに、ネットワークの主要課題の1つでもあります「漂着ゴミ問題」について、利尻町、礼文町、苫前町での取り組み等をご紹介します。



### 会員だより

#### 利尻富士町

-利尻島一周ふれあいサイクリング2008に384名が参加！-

利尻島（周囲約60km）を自転車で一周する「利尻島一周ふれあいサイクリング2008」が8月24日（日）に開催され、島外から199名、島内から185名、合計384名の参加がありました。

島外からの参加者は前日、または当日に稚内港発の鴛泊港着フェリー（8:10着）にて利尻島へ渡ります。今年は第20回記念の大会で、大会前夜に交流会を開催し、参加者へ島の幸が振舞われ、出場者同士親睦を深め合いました。

大会当日は天候にも恵まれ利尻山も山頂まで姿を現し絶好のサイクリング日和となりました。コースは利尻富士町コースが鴛泊港を出発点に島を左回り、利尻町コースが利尻町役場を出発点に右回りで、開会式後に号砲を合図に一斉にスタートしました。参加者は本格的な競技用からいわゆる「ママチャリ」に幼児を乗せての出場など様々です。利尻島を一周すると利尻山は360度違う顔を見せ、海には礼文島が浮かび一面に広がる水平線や、漁業風景が参加者の心を癒してくれます。

そして午後3時には一人のリタイヤも無く全員がゴールすることが出来ました。参加した方にとっても素晴らしい一日になったようです。

最北の浮島「利尻島」の短い夏の最後のイベントである本大会は、来年も8月第四日曜日に開催する予定です。



利尻島一周ふれあいサイクリングの様子

## 利尻町

## -地元漁業組合による海岸清掃から思うこと-

利尻町では海が穏やになると同時に、漁が忙しくなる前に毎年各地区の漁業協同組合が主体となって毎年 4 月下旬に町内の漁業者や役場関係者、組合職員など約 300 人が参加して海岸で一斉清掃を実施し、今年は 2 トントラック 8 台分のゴミが集まりました。

さて、毎回海岸清掃を通じ、担当者として、思うことがあるのですが、それは毎回たくさんの漂着ゴミ、そのすべては元はといえば人間が捨てたものということです。そのゴミの数だけ

心無い人間がいると思うと悲観してしまいましたが、清掃活動をしていると、黙々とゴミをトラックまで運んでいる姿を見て心温かい人たちも身近にいるんだなど、ちょっとほっとしたりもします。

近年、利尻島の観光客と同様、ゴミも国際化しています。もちろん日本の製品もたくさんありますが、魚網やロープなどの漁具以外に韓国、中国製品や、ロシア製の日用品など様々です。ハングルで書かれた廃油の入ったドラム缶まで流れ着いた事もありました。この問題はもう日本だけの問題ではありません。

以前に日本海側のある地域でハングル文字の入ったゴミが大量に流れ着いて、それを韓国に住む大学生が回収しているテレビ番組を見たことがあります。一方、私たち日本人が出したゴミも遠くアリューシャン列島、ハワイやミッドウェーなどの太平洋諸島やアメリカ西海岸などに流れ着き野生動物を苦しめている事実もあるそうです。

海岸清掃から感じる温かい心も持った人間と、海にゴミを捨てる心無い人間。海岸にゴミが流れ着かなくなり、もし、この取り組みが終わるとき、その理由が「心無い人間がいなくなったから」という世界に是非なってほしいです。



海岸一斉清掃の様子

## 礼文町

## -海岸清掃を学習の場に-

本年度は 4 月 24 日に町内の全小・中学校が参加し礼文島内一斉のクリーン作戦が行われました。

船泊ふなどまり中学校では、地元ボランティアとともにスコトン岬からゴロタ岬までの海岸に漂着したゴミを収集し、船泊ふなどまり小学校、神埼小学校合同でスコトン岬までの車道を中心に清掃活動を



地元中学校による海岸清掃の様子

実施しました。

この清掃活動は、昨年と同様に単にゴミを拾うだけではなく、参加した生徒に対し「自分と人の心を大切にする奉仕の心を考えながら、自ら行動できる」、「ゴミの分類調査をとおして、環境やモラルについて考える機会とする」ことをねらいとし、学習の場として海岸清掃に参加しています。

収集されたゴミは、ペットボトル、家庭ゴミ、漁具など5種類に分類し、また、ゴミの数量やラベル表示から、どこから来たゴミなのかを記録しました。今後もこの清掃活動を引き続き継続していく予定です。



地元小学校による車道脇清掃の様子

## 苫前町

### -地元ボランティアによる海岸清掃-

北海道の北西部に位置し日本海に面する苫前町は南北へ縦貫する国道 232 号沿いに約 17 キロメートルの海岸を有しており、毎年 5 月下旬に海岸清掃活動をしています。

この取組みは、日本海側の海岸線のイメージアップを図ることを目的に平成 6 年から始まっており、苫前町が事業主体となって各町内会、老人クラブ、婦人会、学校関係、高齢者事業団、地元建設協会等 19 団体がボランティアで協力しながら行っているものです。

取組当初の頃は、流木、木片、海草類といった自然物が多かったのですが、近年は缶類、ペットボトル、プラスチック類、ロープ等といった人工物が多く漂着しています。なかには冷蔵 庫や車のタイヤなどのゴミもあり、海岸での清掃活動も大がかりとなっています。

本年は 5 月 28 日に実施し、各関係団体から総勢 150 名が参加しました。また、海岸線を 6 地区に分け、担当した海岸にて清掃を行いました。集められたゴミの総量は約 5 t にもなり、一般廃棄物処理場へ運搬して処分を行いました。



地元ボランティアによる海岸清掃の様子

#### 編集・問い合わせ先

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク 事務局

国土交通省 北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課 調査係

Tel : 011-709-2311 (内線 5617) Fax : 011-709-2147